

長寿社会における生涯学習の在り方について  
～人生100年 いくつになっても 学ぶ幸せ「幸齢社会」～

【 報告書について 】

人生100年時代の長寿社会が到来しつつあることを踏まえ、平成23年9月より、文部科学省に設置された「超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会」において、高齢者の生涯学習に関する現状と課題の整理や今後の在り方等に関する検討が行われ、平成24年3月に報告書がとりまとめられました。

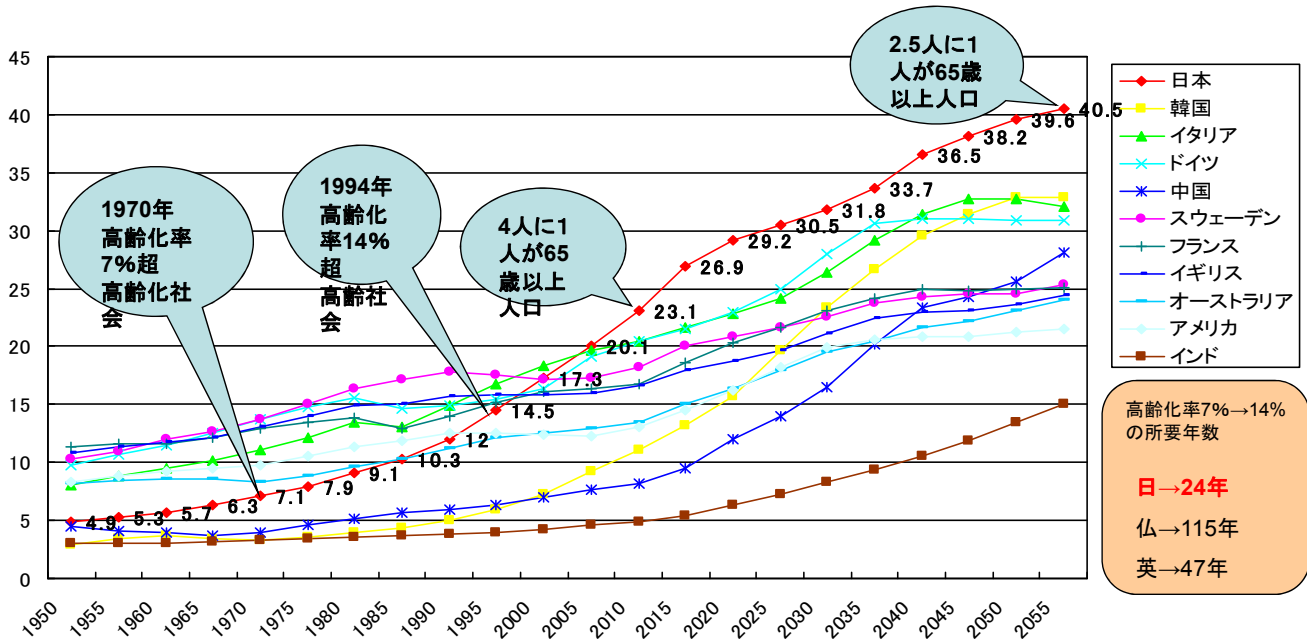
([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/24/03/1318903.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/03/1318903.htm))

平成24年10月2日  
文部科学省社会教育課

## I データで見る高齢化の現状

# 高齢化率は世界のトップランナー

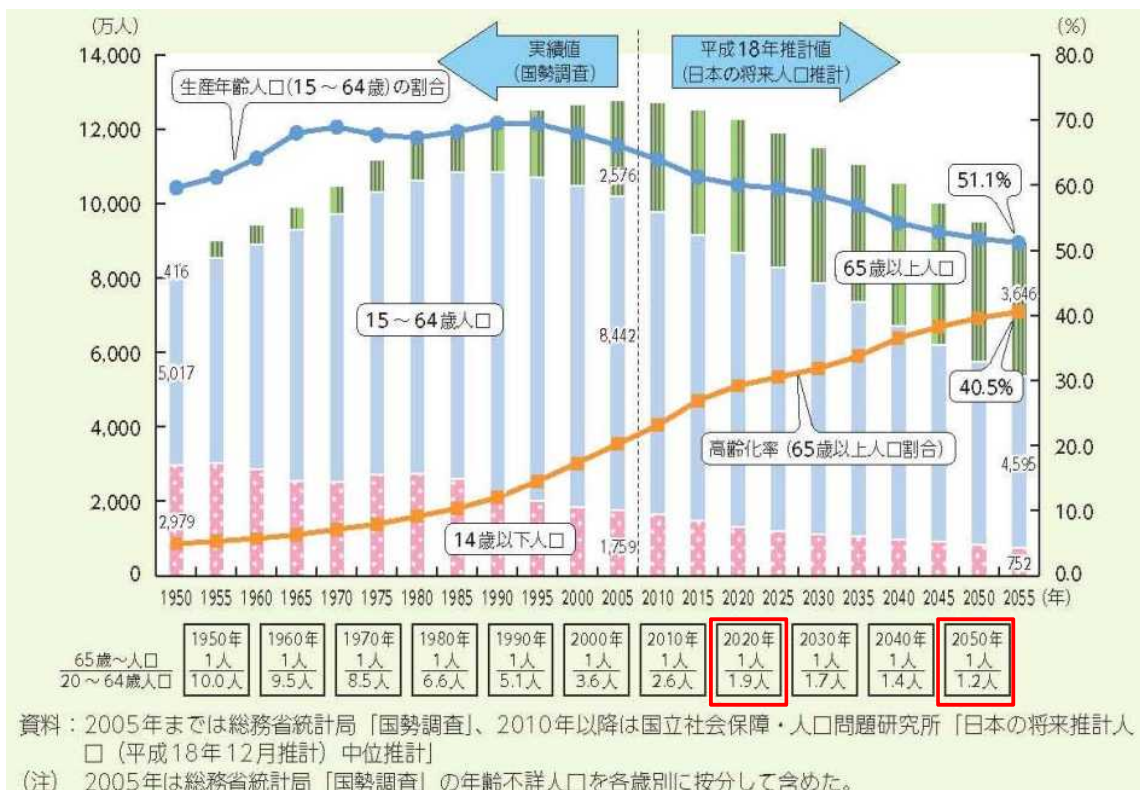
- アジア各国(日本、韓国、中国)が急速に高齢化。
- 高齢化先進国(課題先進国)である日本は、超高齢社会のモデルとして世界から注目。
- 今後、高齢化はますます加速化し、2055年には、40%を超え、2.5人に1人が65歳以上人口に。



資料: UN, World Population Prospects: The 2010 Revision

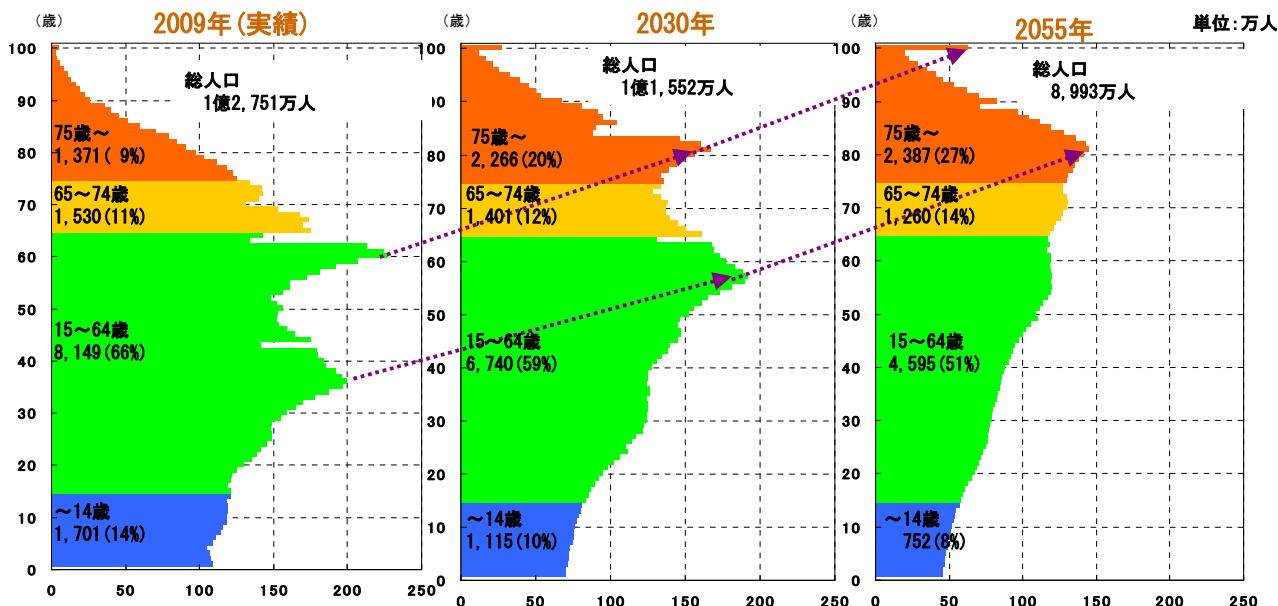
注) 日本については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2006年12月推計)」の出生中位・死亡中位家庭による推計結果

# 総人口の減少と高齢化率の上昇の同時進行



# 人口構造の変化(20年後には人口の3分の1が高齢者)

- 長寿化及び少子化により、年少人口及び生産年齢人口の激減と後期高齢者(75歳以上)の激増。  
 年少人口が50年で半分以上に : 1701万人(09年)→1115万人(30年)→752万人(55年)  
 生産年齢人口が50年で約4割減 : 8149万人(09年)→6740万人(30年)→4595万人(55年)  
 後期高齢者人口が50年で倍増 : 1371万人(09年)→2266万人(30年)→2387万人(55年)

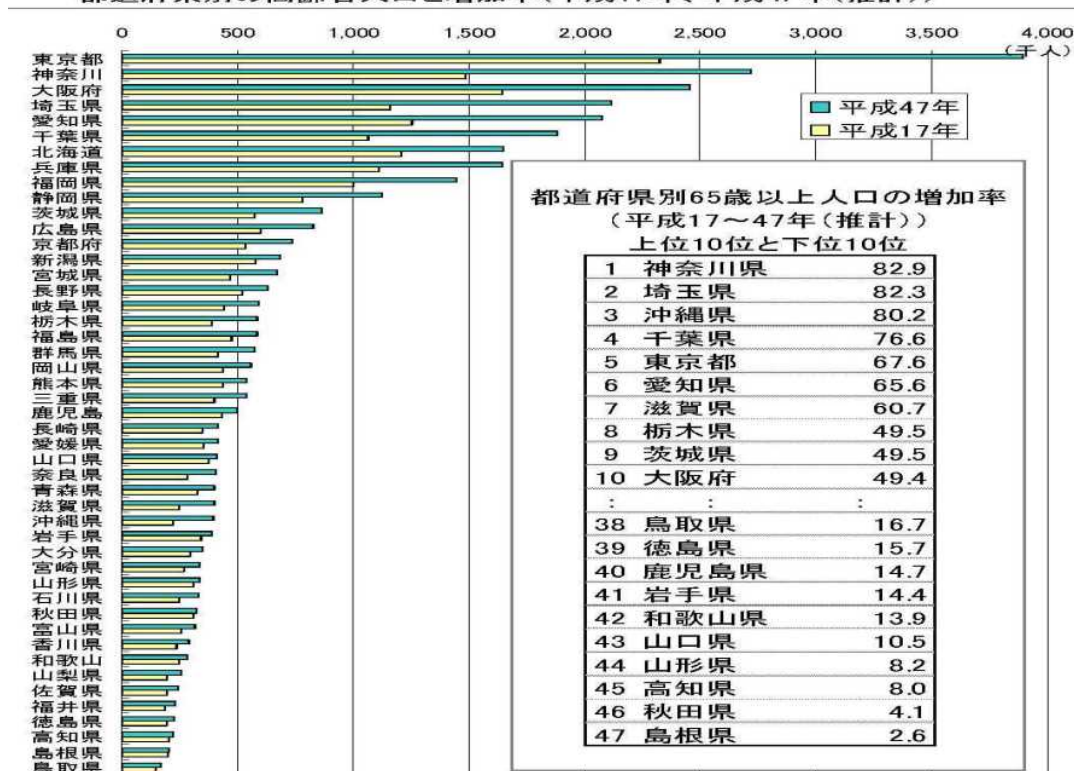


資料: 総務省「国政調査」(平成22年度)

※ 総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と合致しない。

## 都市部の高齢者人口の増加

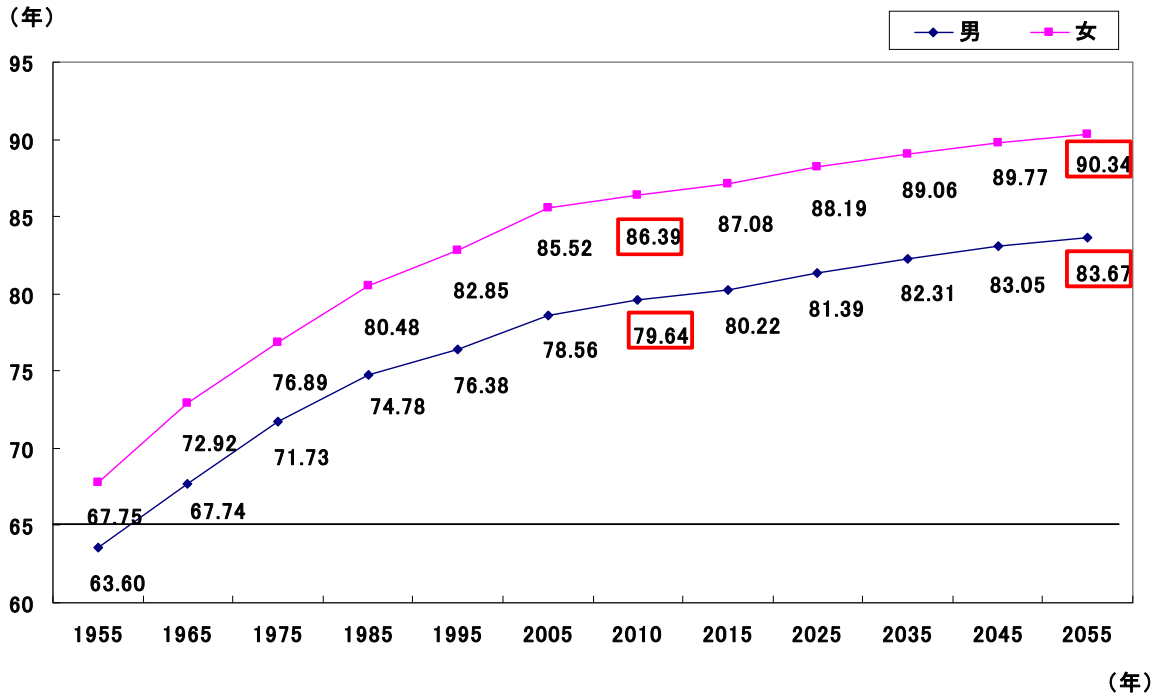
都道府県別の高齢者人口と増加率(平成17年、平成47年(推計))



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所  
 「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」

# 世界一の長寿国(男性5位、女性1位)

平均寿命の推移と将来推計

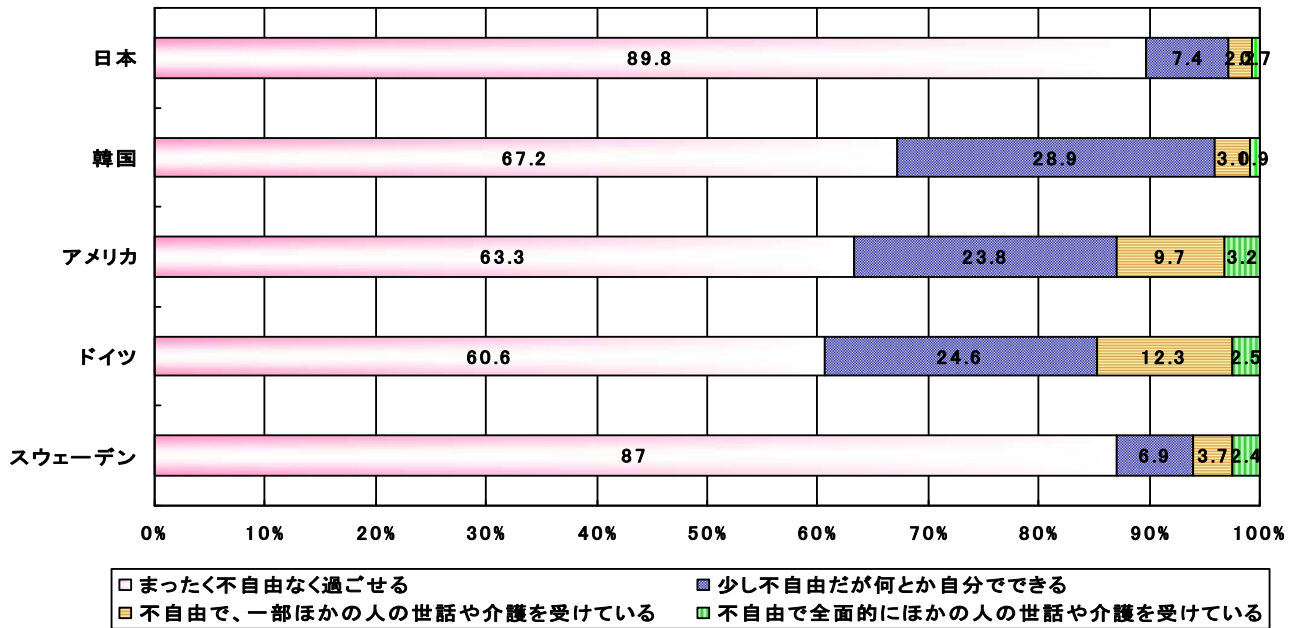


資料: 2005年までは、厚生労働省「完全生命表」、2010年は厚生労働省「簡易生命表」  
2015年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

## Ⅱ データで見る高齢者の実態

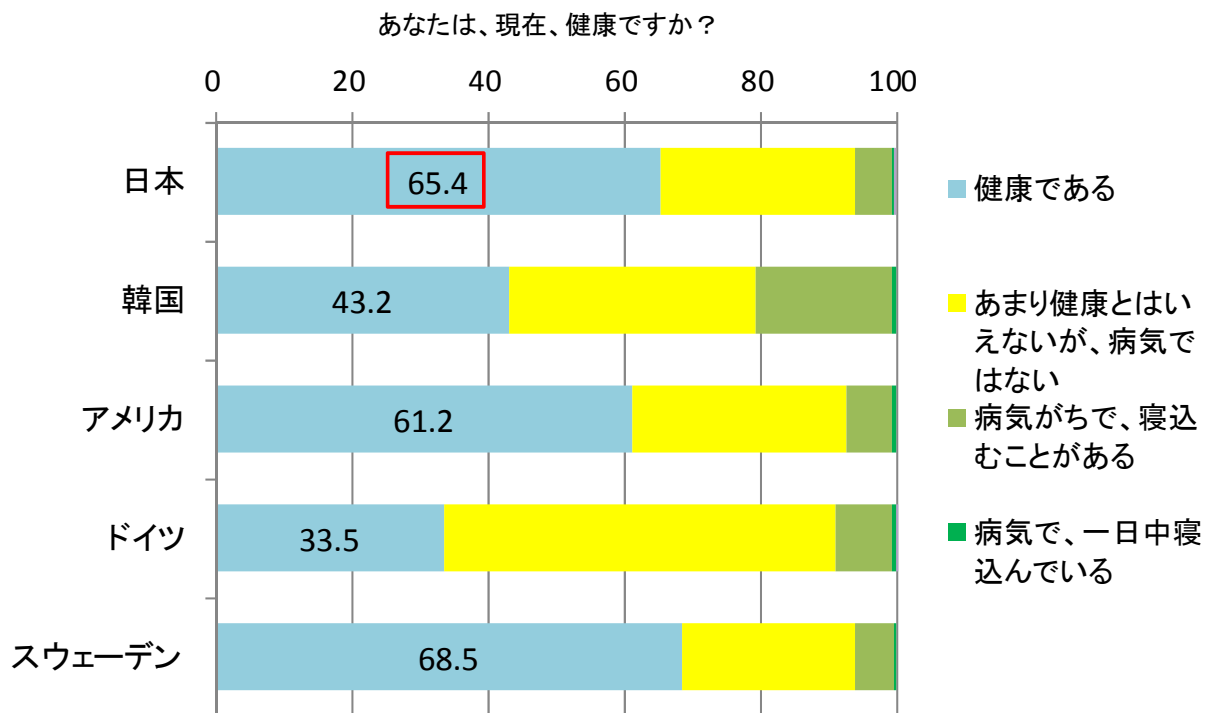
# 60歳以上の高齢者の日常生活における介助等の必要度

- ・65歳以上人口約2950万人のうち、介護保険サービスの受給者数は402.4万人(平成23年)
- ・約9割は元気な高齢者。



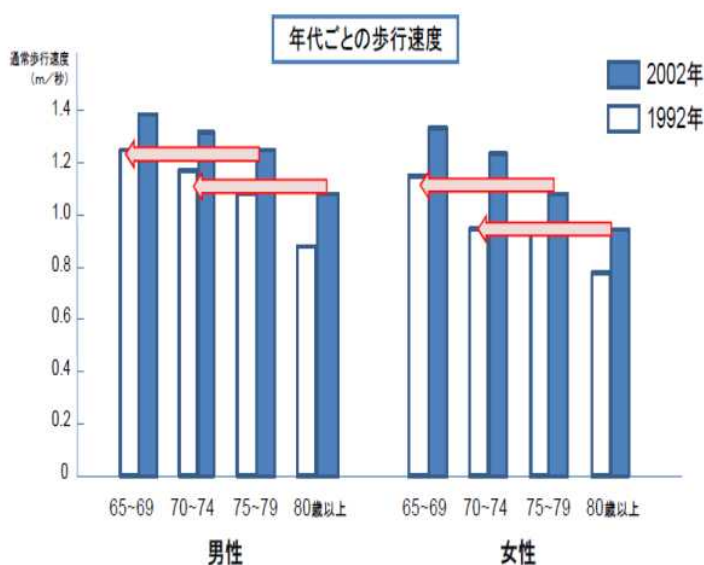
資料: 内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」(平成22年調査)  
 ※調査対象は、60歳以上の男女

# 高齢者の7割弱が自分を健康だと思っている

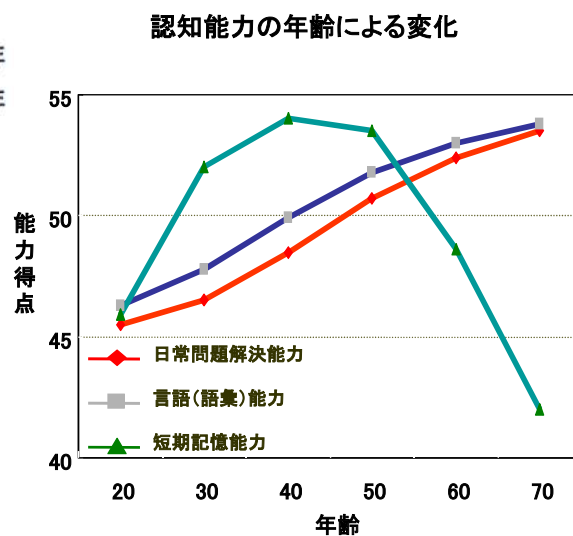


資料: 内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」(平成22年) ※対象は60歳以上の者

# 高齢者の実態とイメージとの乖離～若返る高齢者～



(出所: 鈴木雄雄他「日本人高齢者における身体機能の縦断的・横断的変化に関する研究」  
 (第53巻第4号「厚生」)2006年4月, p1-10)より引用)



資料: Cornelius and Caspi(1987, p150)

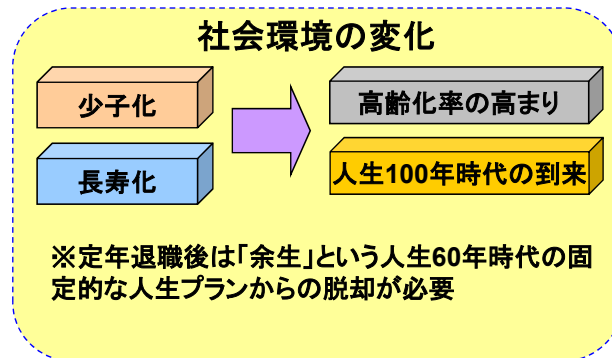
## Ⅲ 現状と課題の整理



# 現状と課題

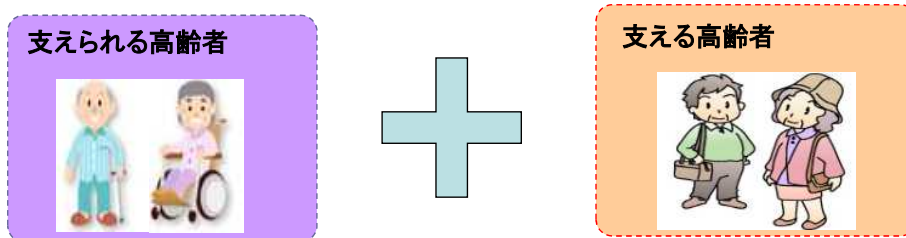
## ●人生100年時代の到来

「高齢社会」という言葉の持つ、マイナスのイメージから脱却し、健康で、生きがいをもって高齢期を迎えるためには、人生100年時代を想定した人生設計を行うことが必要



## ●高齢者の実態とイメージの乖離

社会から支えられる存在ではなく、地域が抱える課題を解決する「地域社会の主役」として活躍できる環境を整備することが必要



13

## 高齢者に対する誤ったイメージ(老人神話)

### (1) 老化の状態は、年齢で決まる。

人口統計では、65歳以上を老年人口としているが、老化の状態は、個人差が大きく、年齢によって一律に扱うことは適切ではない。

### (2) 高齢者のほとんどは、健康を書している。

健康上の問題で、日常生活に支障があるとする者は、65歳以上人口の約2割弱であり、大多数の高齢者は「自分は、健康である」と考えている。

### (3) 高齢者は、非生産的である。

70歳代後半でも約3割の高齢者が、就業している現状をみると、高齢者が生産的な活動に参加していないとする見方は正しくない。また、ボランティア活動をはじめとする高齢者の社会参加活動も活発になってきている。

### (4) 高齢者の頭脳は若者のように明敏ではない。

動作の俊敏性や正確さなどは低下するが、高齢期になっても知識や理解力、判断力などは低下しないといわれている。老化によって理解力や思考能力が低下していると思われる場合も、高齢者が自分の頭脳を使用しないことによって低下しているに過ぎない場合も多い。

### (5) 高齢者は恋愛や性には無縁である。

高齢者が心豊かな生活を送るうえで、恋愛や性は重要な要素である。恋愛や性をめぐる問題は、介護老人福祉施設などにおいても重要性を増してきており、施設側の基本姿勢としては好意的な意見が多い。

### (6) 高齢者は誰も同じようなものである。

長年にわたる生活習慣や環境の違いが心身の状態にさまざまな影響を与えており、高齢者は若い人以上に個人差が大きく、高齢者を「一つの集団」として見ることは適切ではない。

14

## IV 長寿社会における生涯学習

15

### 生涯学習社会の理念

---

- ① 生涯にわたる学習機会を保障
- ② 多様な領域での学習機会を総合的に整備  
学校教育、社会教育、企業内教育、家庭教育、  
スポーツ・文化活動、ボランティア活動、自己学習など
- ③ 学習の成果を社会的に適切に評価、活用

\* 教育基本法(2006改正) 第3条  
(生涯学習の理念)

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

16



## 学習活動と社会参画との関係

学習活動と社会参画は密接な関わり

### ①社会参画＝生涯学習

社会参画の活動自体が学び

(自己開発、気づき、自己実現、生きがい)

### ②学習活動(学び)→社会参画(実践)

学びの実践としての社会参画活動

(活動のために学ぶ、学んだ成果を活かす)

### ③社会参画(実践)→学習活動(学び)

人々の学びを支援する社会参画活動

(学習支援ボランティア、地域○○リーダー)

学びと実践の循環を通じて、生きがいに満ちた豊かな人生

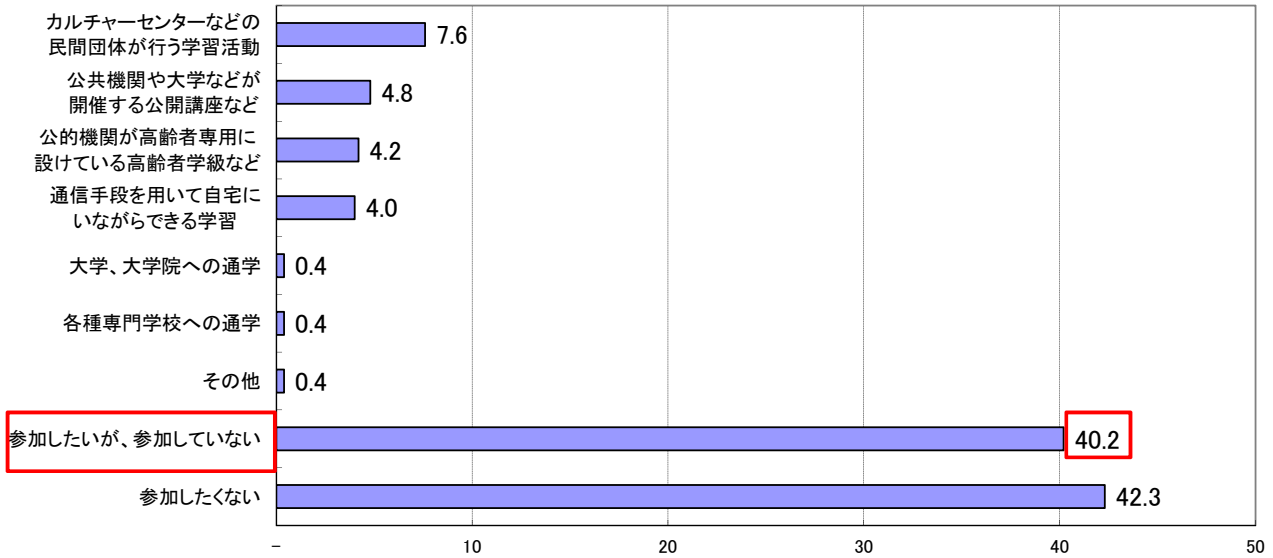


## V 高齢者の学習活動・社会参画の現状

# 高齢者の学習活動への参加状況

○ 学習活動に参加したいが、実際には参加していない人が4割

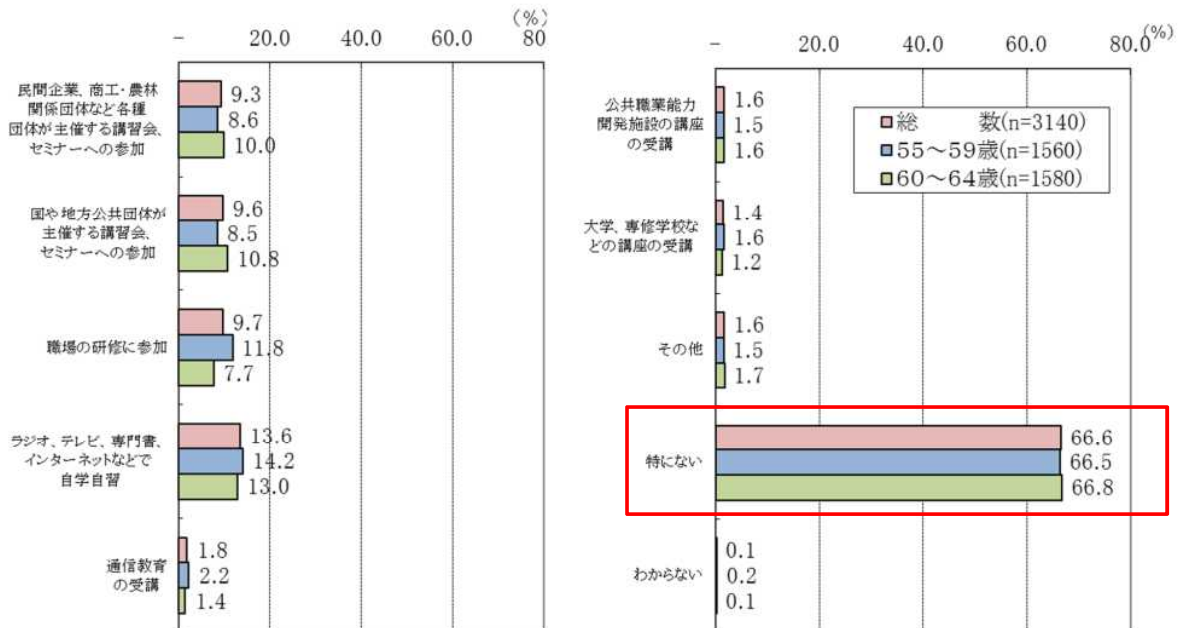
高齢者の学習活動への参加状況(複数回答)



資料: 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成20年)  
 (注) 調査対象は、全国60歳以上の男女

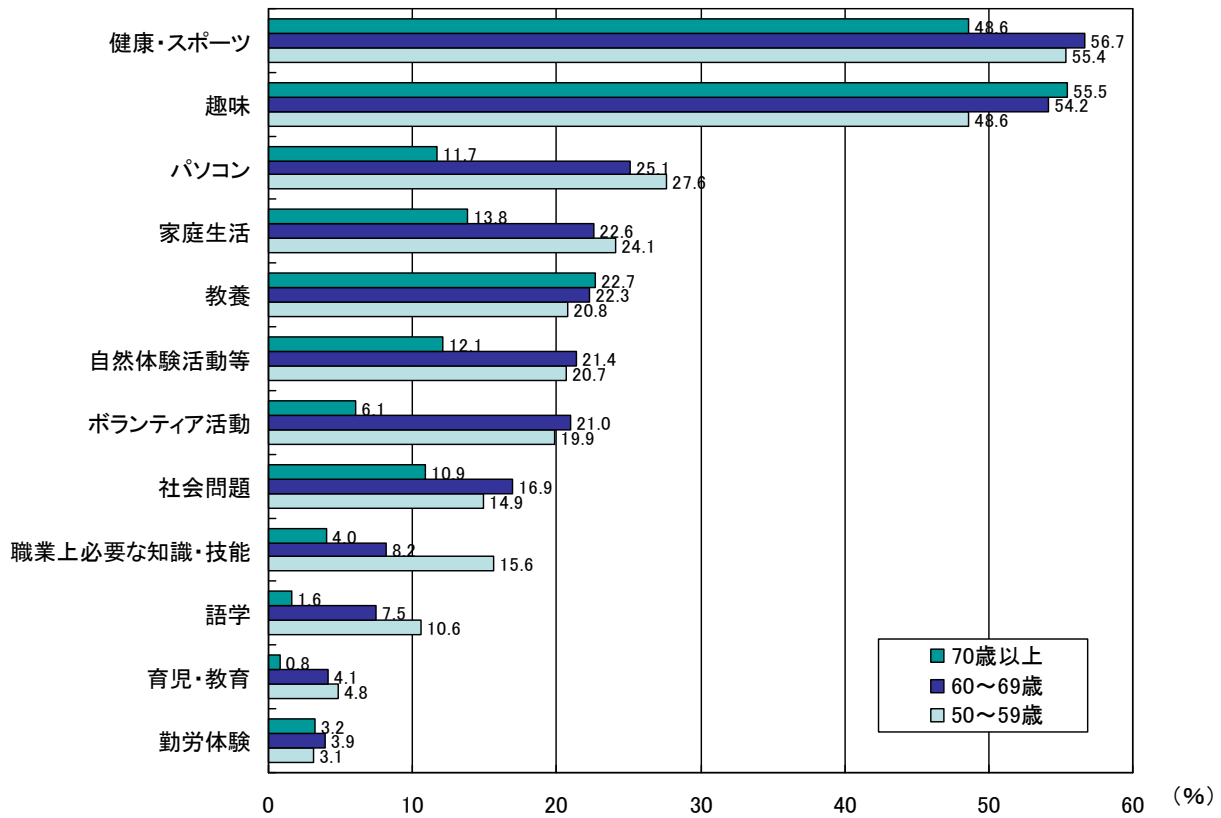
○ 高齢期に備えての自己啓発・学習をしていない人は約3分の2と多い

高齢期に備えて、過去1年間に、自分の能力や意識を高めるために参加したり、行ったりしたことはありますか？



資料: 内閣府「中高年者の高齢期に備えての意識に関する調査」(平成20年) ※対象は55歳~64歳の者

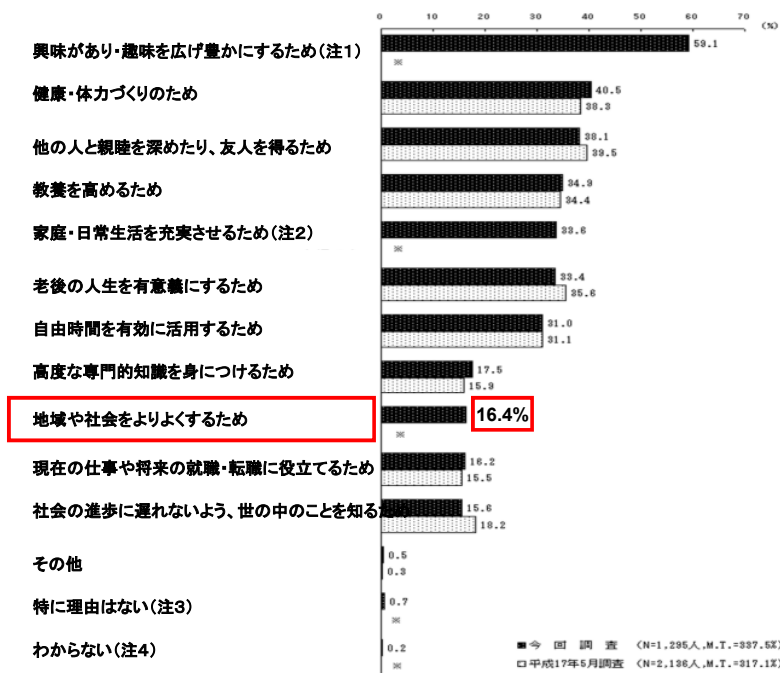
# してみたい生涯学習の内容



資料：平成20年 内閣府「生涯学習に関する世論調査」

# 生涯学習をしてみたい理由

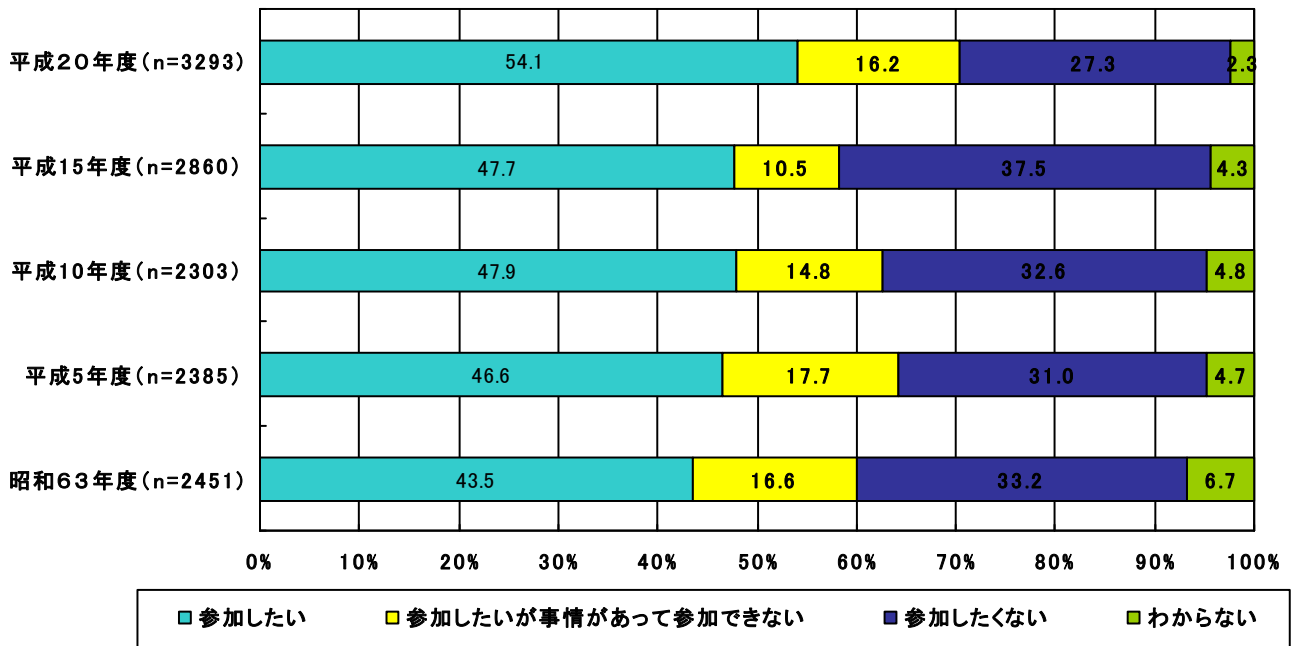
今後「生涯学習をしてみたいと思う」「どちらかといえばしてみたいと思う」と答えた者に複数回答



出典：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成20年5月調査)

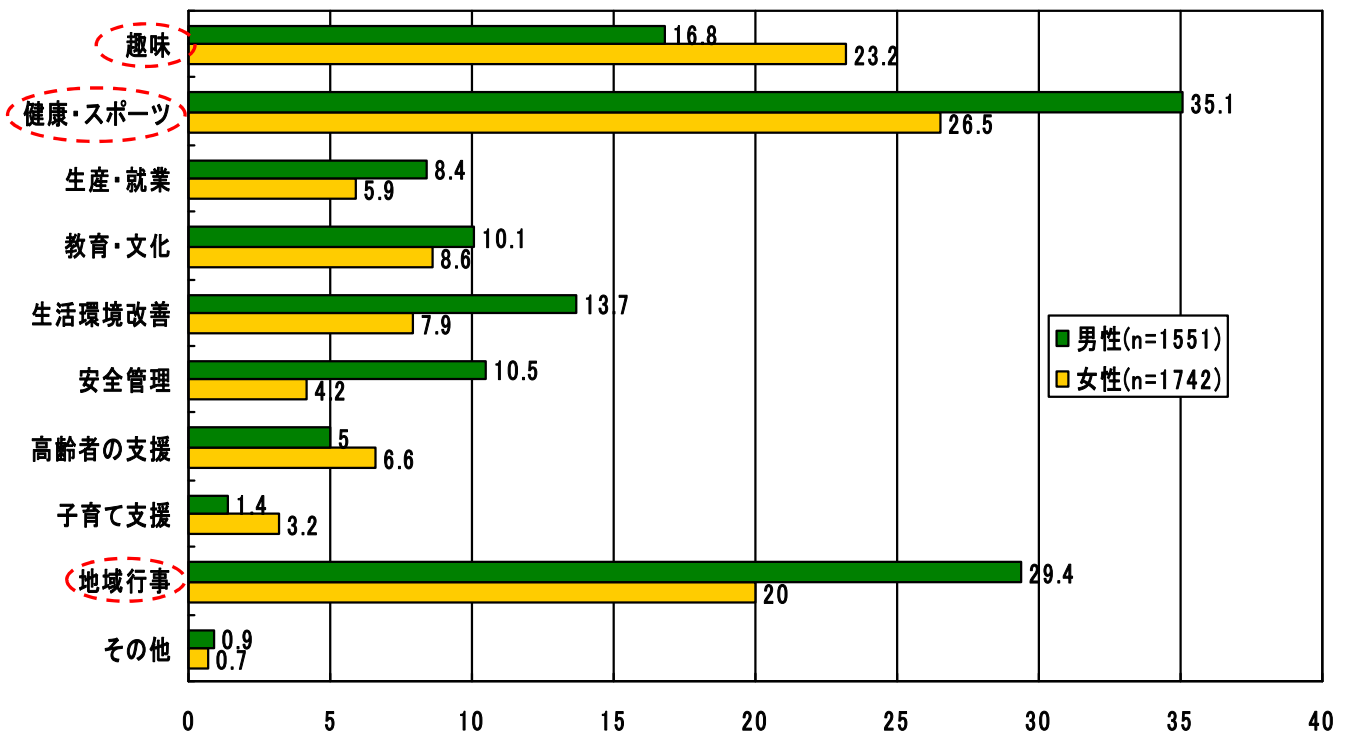
〈注1〉平成17年5月調査では、「趣味を豊かにするため」(59.8%)、「興味があったため」(19.8%)となっている。  
 〈注2〉平成17年5月調査では、「家庭・日常生活や地域をよりよくするため」(20.4%)となっている。  
 〈注3〉平成17年5月調査では、「特に理由はない、わからない」(0.3%)となっている。

# 高齢者の地域活動への参加意向



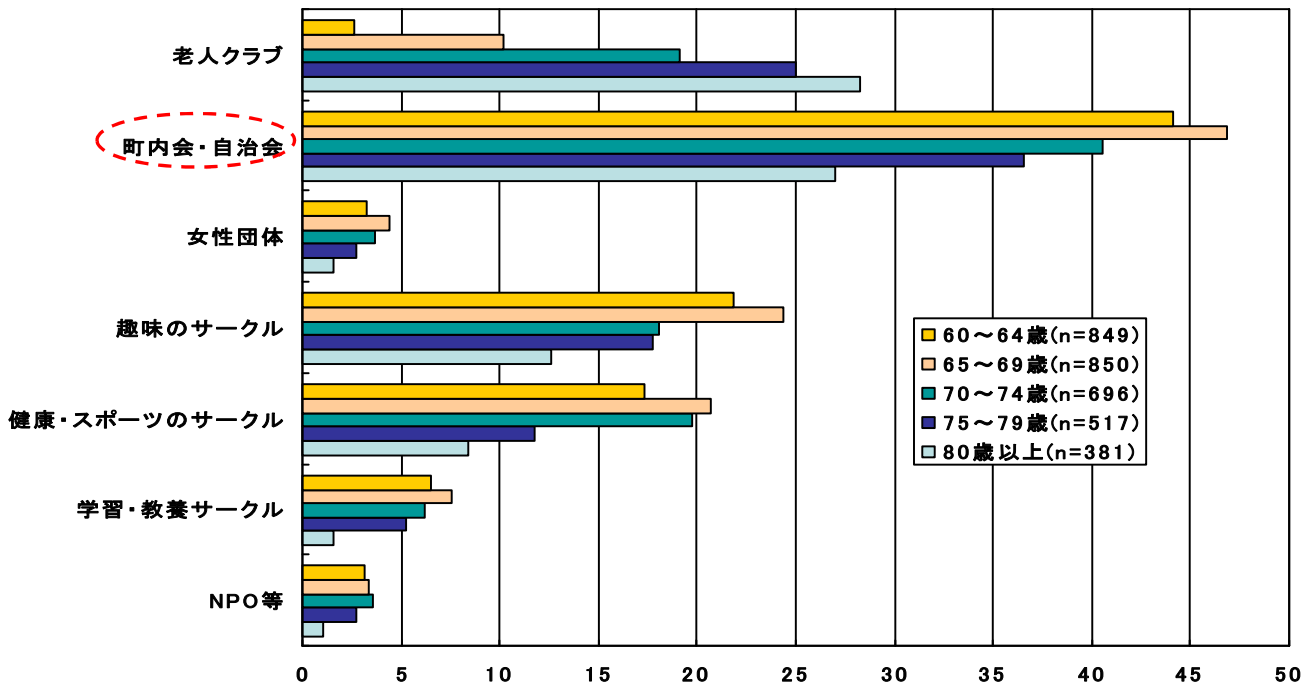
資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)

# 高齢者の地域活動への参加状況



資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)

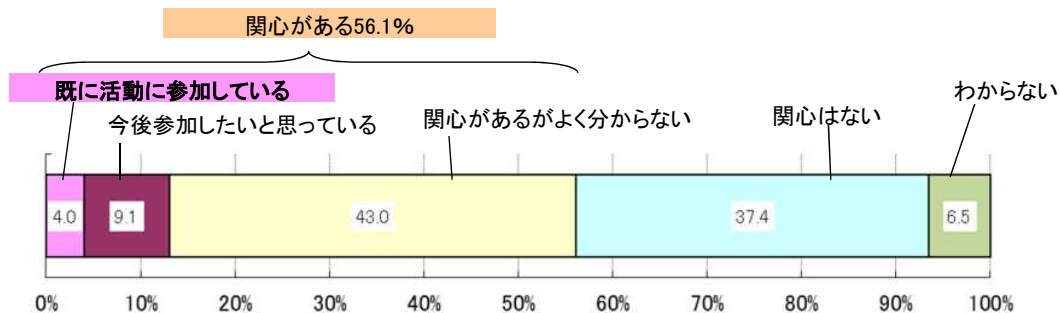
# 高齢者が地域参加する団体・活動



資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)

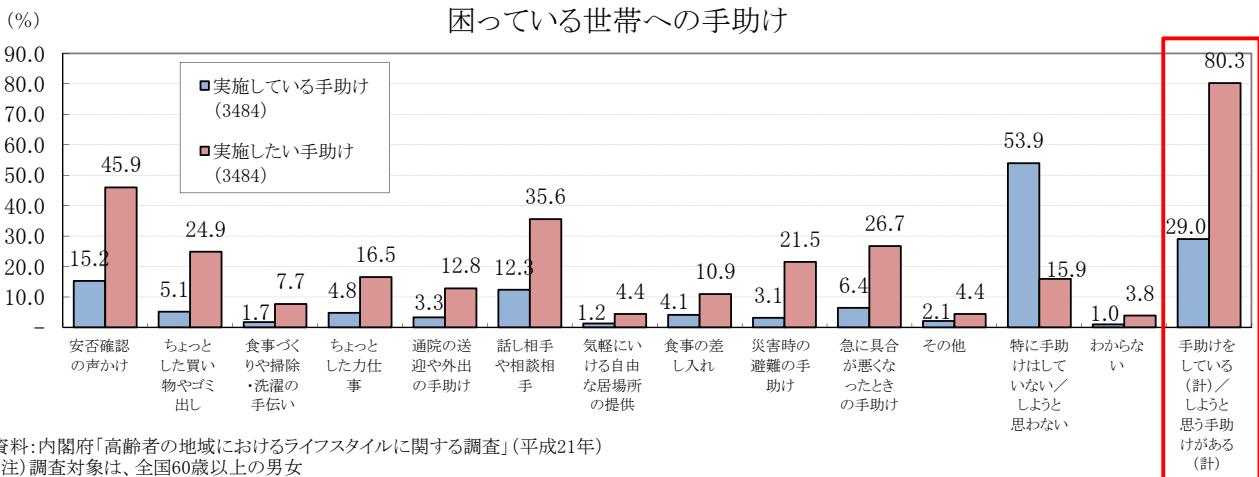
# NPO活動への関心

## NPO活動への関心の有無



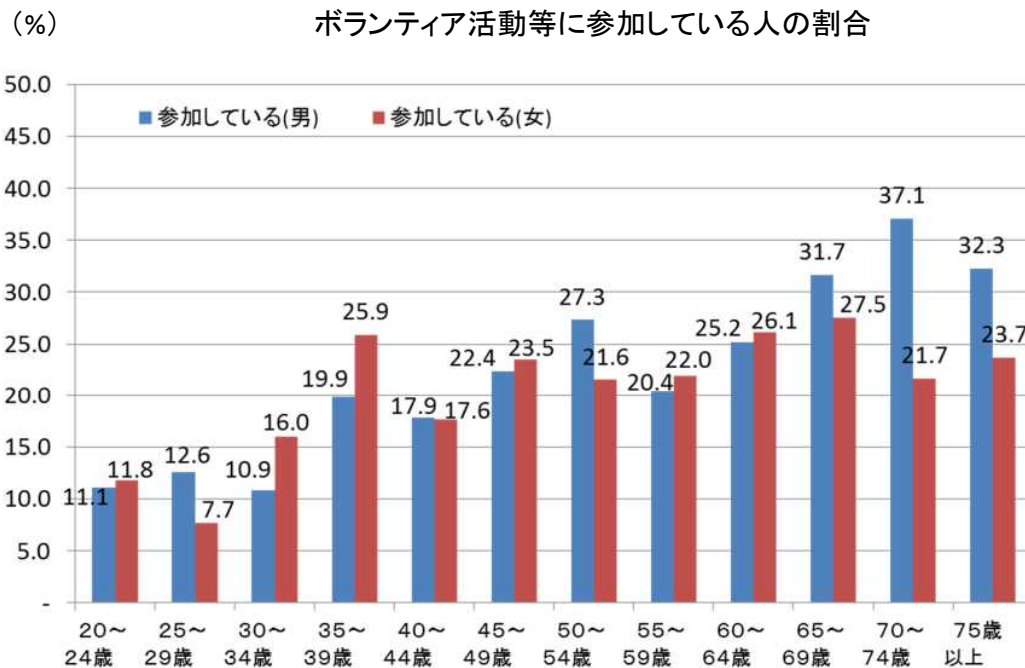
資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成20年) (注)調査対象は、全国60歳以上の男女

## 困っている世帯への手助け



資料:内閣府「高齢者の地域におけるライフスタイルに関する調査」(平成21年)  
(注)調査対象は、全国60歳以上の男女

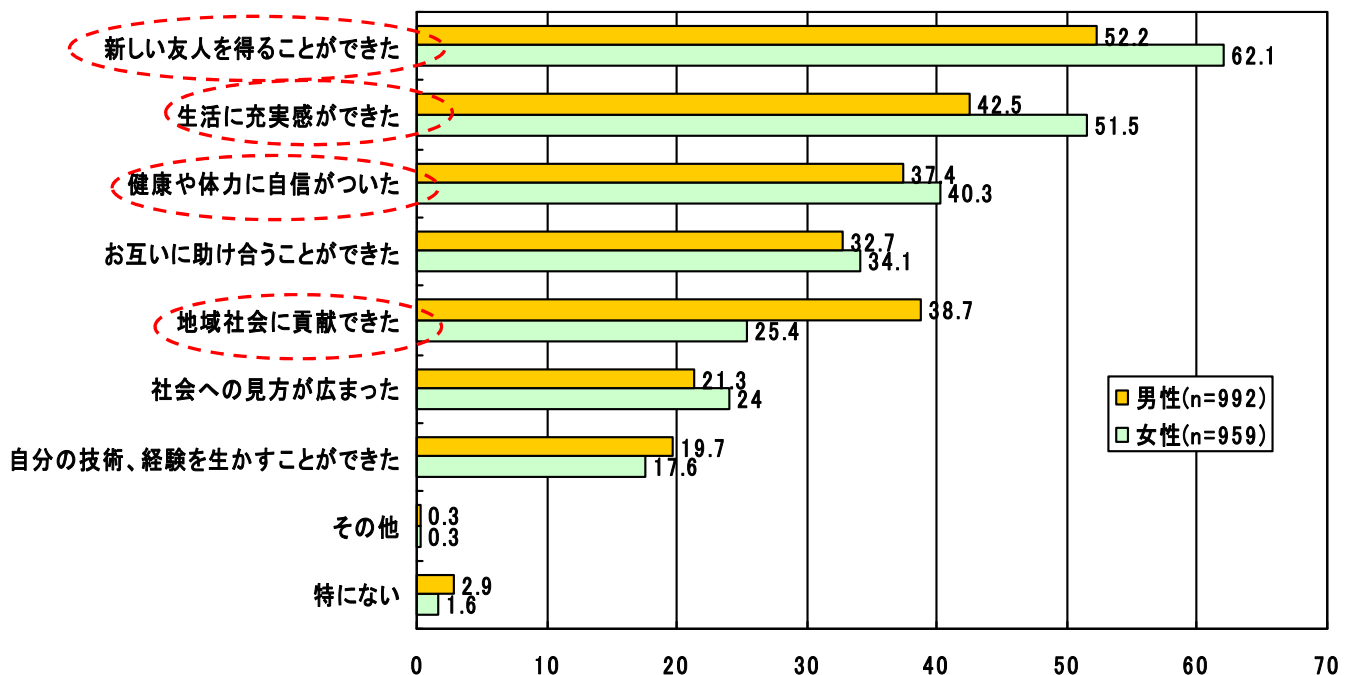
## ボランティア活動への参加



資料：平成22年度 国民生活選好度調査

27

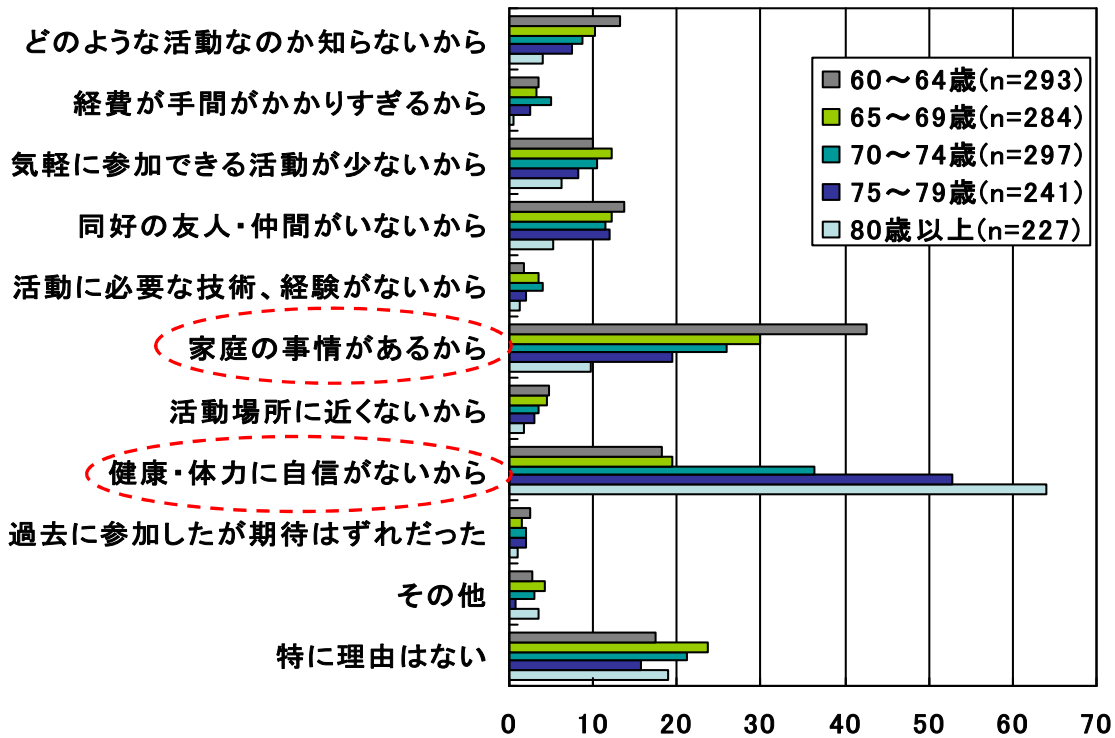
## 高齢者の地域参加による効果



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)

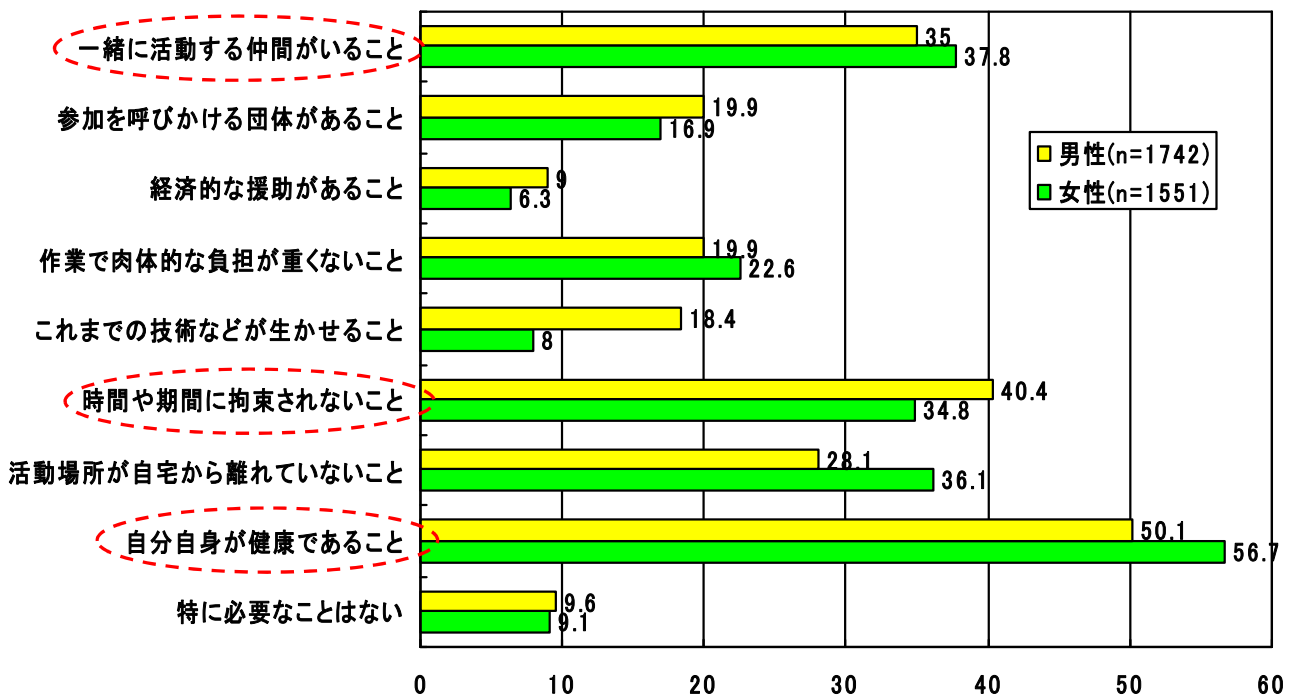
28

## 高齢者の地域活動に参加しなかった理由(年齢別)



資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)

## 高齢者の地域参加の活動の条件



資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成21年)



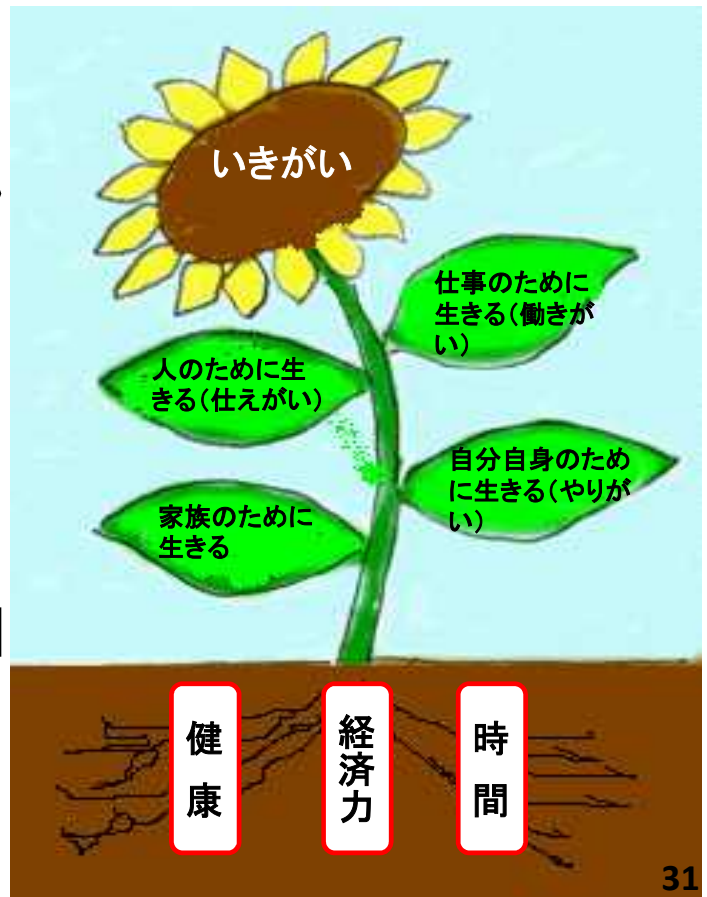
# 高齢者にとって学習活動・社会参画の意義は何か？

## 高齢者のメリット

- ① 家族を扶養する責任がなくなる
- ② 金銭にあくせくしないで済む
- ③ 社会的な評価や地位を考えなくとも良い
- ④ 自分の好きなことができる
- ⑤ 公共のために尽くす自由がある

## 学習活動・社会参画の効果

- ① 社会的人材の活用
  - 地域が抱える課題解決の担い手として活用
- ② 孤立化による孤独死の防止
  - 社会参画を通じて社会とのつながりを持ち、地域での孤立化を防止
- ③ 豊かなセカンドライフの実現
  - 生涯学習・社会参画・地域貢献を通じた生きがいの創出により第二の人生に潤いを。
- ④ 健康維持・介護予防
  - 体を動かすことで健康維持・介護予防に貢献



## VI 報告書の提言(概要)

## 今後の政策の基本的な方向性

### 方向性1

#### 学習内容及び方法の工夫・充実

学習者の参画による多様な学習機会の提供

### 方向性2

#### 世代別の特性への配慮

各世代や性別に応じたきめ細かい生涯学習

### 方向性3

#### 学習が困難な者への配慮

アウトリーチ型による届ける生涯学習

### 方向性4

#### 関係機関相互の連携の促進

- ・大学等との連携の促進
- ・教育委員会と首長部局との連携の促進
- ・地縁組織とNPO等との連携の促進

### 方向性5

#### 学習成果の活用の促進

地域活動や就労など活躍する場の提供

### 方向性6

#### コーディネート機能の整備

専門人材が連携協働できる仕組みの構築

### 方向性7

#### 世代間交流の促進

知識・経験の伝承、高齢者の居場所づくり

33

## 生涯学習支援の具体的な方策

### 方策1 学習プログラムの開発・提供

高度化・多様化する学習ニーズに対応するため、地域の多様な主体の連携の下、学習者の参画による協働型学習プログラムの開発及び提供を行う。

### 方策2 情報発信・情報収集

学習活動や地域活動に係る情報の収集・データベース化、ワンストップサービスの整備を図る。

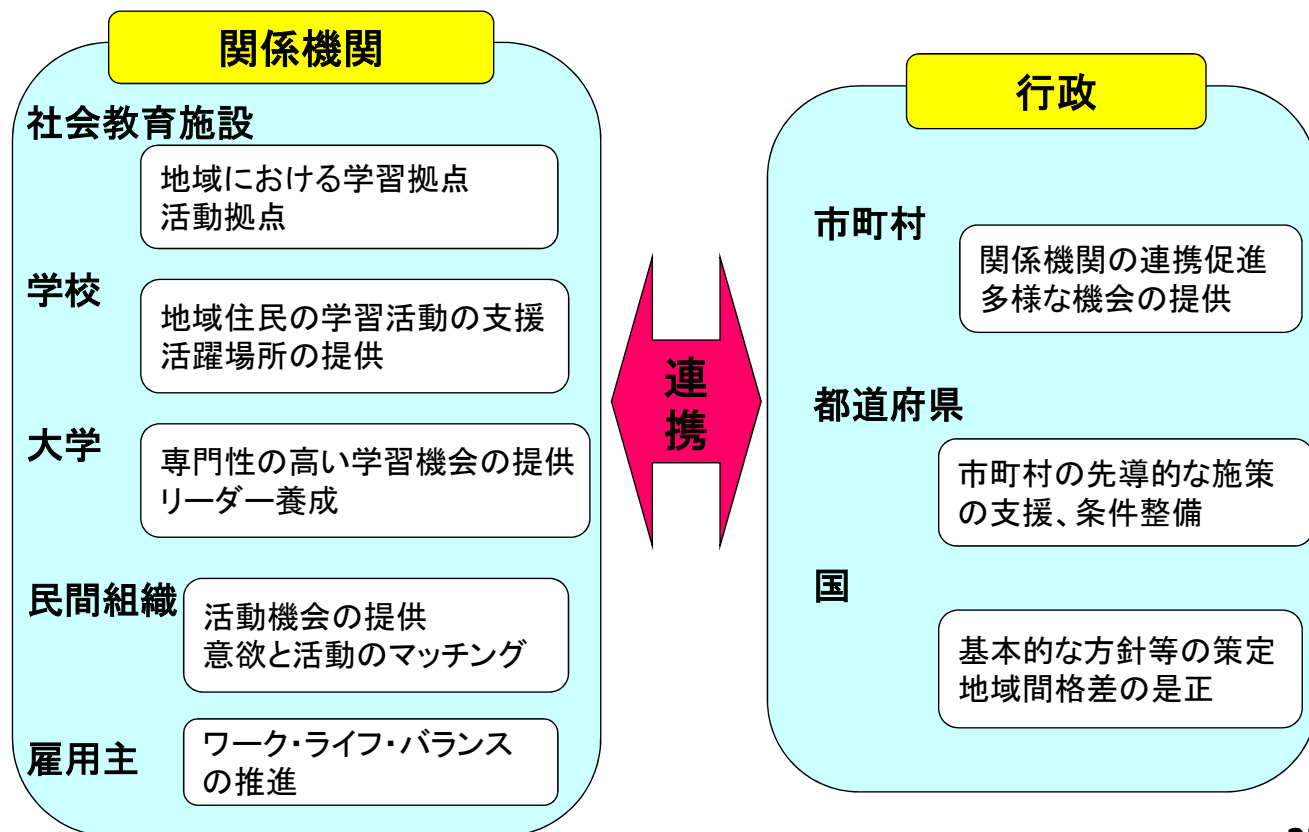
### 方策3 コーディネーター人材の養成

関係機関の連携の下、住民の学びや活動を支援するコーディネーター人材の確保及び養成、研修の充実を図る。

### 方策4 成果活用の仕組みづくり

人材バンクや学習ボランティア登録制度の充実、学校支援や子育て支援など高齢者の活躍の場の充実を図る。

34



## VII 高齢者の生涯学習に関する事例

学習成果を地域の活性化につなげている例 ～チャレンジコミュニティ大学(東京都港区)～

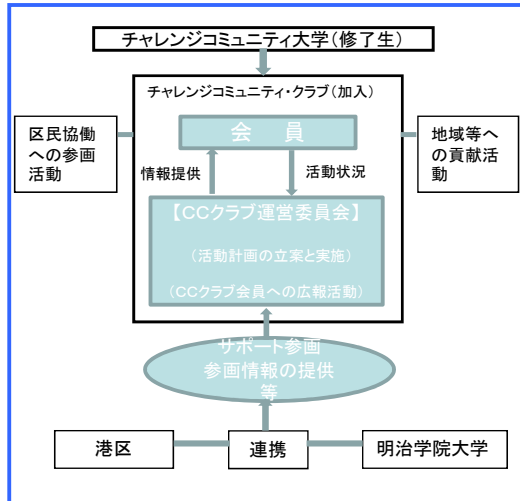
**高齢者や高齢を迎える方が、学習を通して個々の能力を再開発し、自らが生きがいのある豊かな人生を創造するとともに、今まで培ってきた知識・経験を地域に活かし、地域の活性化や地域コミュニティの育成に積極的に活躍するリーダーを養成することを旨とする。**

■チャレンジコミュニティ大学の概要

「共に手を組みシニアの手で港区をもっと元気に住みよい町にしよう」という理念のもと、60歳以上の人を対象に、今まで培ってきた知識・経験・能力等を地域に生かし、地域コミュニティ活性化の要となる地域活動のリーダーを育成することを目的としている。受講期間は、1年間。大学の運営は、港区と明治学院大学が連携して行い、明治学院大学の校舎を使用して開設。図書館や食堂施設をはじめ、大学内の多くの施設を利用することも可能。学習内容は、区政や地域活動に役立つ基礎的な講義を中心に、福祉・環境・芸術等、多方面にわたる講義を実施。

■修了後の活動

1年間のカリキュラム修了後は、チャレンジコミュニティ大学の修了生を会員とする「チャレンジコミュニティクラブ」(以下「CCクラブ」という)に登録することが義務づけられている。CCクラブは、チャレンジコミュニティ大学修了生の情報交換、資質の向上、地域活動の推進等を目的とした組織で、会員が自主的に運営。また、区からの情報も、CCクラブを通して修了生に提供。そのほか、港区の各委員会等への参加(区民参加)、地域タウンフォーラムなど、地域活動へも参画。



講義の様子



地域活動の様子

学習成果を地域の活性化につなげている例 ～なかの生涯学習大学(東京都中野区)～

- ◆自らの豊かな経験を活かして、共に学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。
- ◆地域で活躍できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。
- ◆自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造する。

■なかの生涯学習大学の概要

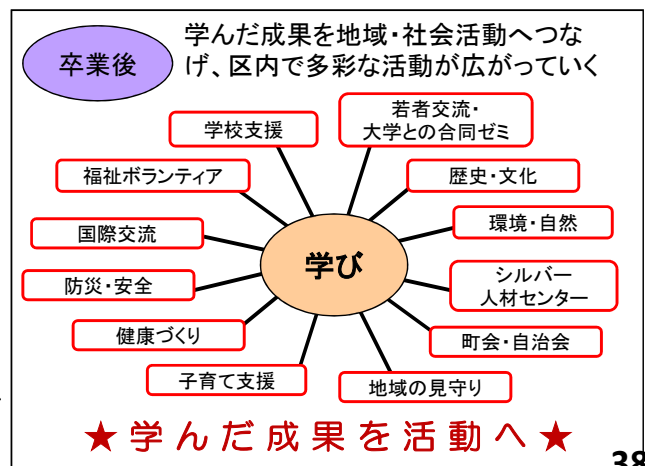
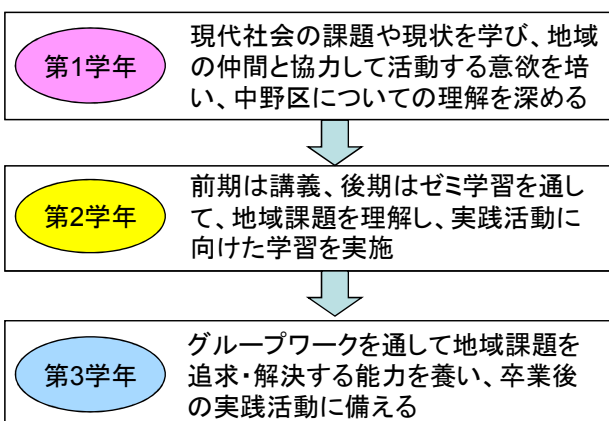
《主催》中野区教育委員会

55歳から79歳までの区民を対象とした社会教育事業で、受講期間が3年間の高齢者大学。豊かな経験を生かして、仲間づくりや地域・社会活動をスタートできるよう、現代社会の課題や地域の現状などを学習。学びを通じて人と人がつながり、活動へつながり、さらに地域社会づくりにつながっていくことをめざす。 《23年度在学者数(23年5月現在)》 第1学年=144名、第2学年=139名、第3学年=148名



早稲田大学との合同ゼミ

■なかの生涯学習大学 各学年のねらい





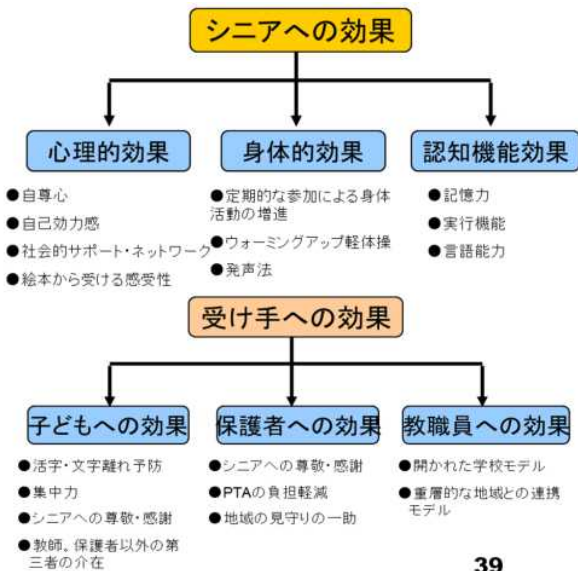
## 世代間交流の事例 ～シニアによる絵本の読み聞かせボランティア「りぷりんと」～

**シニアの生涯学習と社会参加による健康増進、シニアボランティアと子どもたちの世代間交流を通じた相互理解と支えあいのネットワークづくりを目的とした活動。**

### ■りぷりんとの活動

60歳以上のシニアが、ボランティアとして幼稚園、保育園、小・中学校などで子どもたちに絵本の読み聞かせを行っている。東京都中央区(りぷりんと・中央区)、神奈川県川崎市多摩区(りぷりんと・かわさき)、滋賀県長浜市(りぷりんと・長浜)、東京都杉並区(りぷりんと・杉並)にて活動している他、大田区、豊島区、横浜市青葉区においてもシニアの絵本読み聞かせ活動が、学術機関(東京都健康長寿医療センター研究所)との連携により展開されている。

- 絵本の読み聞かせ:小グループに分かれて、学校や幼稚園、保育園などを訪問し絵本の読み聞かせを行っています(月1回～週数回)。
- 絵本の選書:子どもの年齢、季節、時事、授業との関連、施設の要望などを考慮しながら、次世代の子どもたちに伝えたい自身の願いを込めて選書を行います。
- 読み聞かせの練習:後ろの席の子どもにも届く声で、絵本に描かれたメッセージをいかに表現するかなど、繰り返し練習をして本番に臨みます。読み聞かせ後には、反省会や勉強会を行い、技術の維持・向上に努めています。
- 主な活動施設:保育園、幼稚園、小学校、中学校、学童クラブ、児童館



39

## 高齢者の就労の例 ～株式会社高齢社～(東京都)

**「人は財産。人は宝」という考え方に立ち、働く意欲のある高齢者に「働く場」と「生きがい」を提供。**

### ■株式会社高齢社の概要

2000年1月設立。定年を迎えたものの気力・体力・知力を備えた高齢者にこれまでの豊富な知識や経験を活かしてもらいながら働く場と生きがいを提供。60歳以上を対象とした人材派遣事業、有料職業紹介事業、各種請負業務による事業を展開。売上高427百万円、登録社員数380名(2010年度)

### ■経営理念

- 1) 高齢者に「働く場」と「生きがい」を提供
- 2) 「社員≧顧客≧株主」の人本主義(社員第一主義)の徹底
- 3) 派遣先には、①低コスト、②高品質、③柔軟な対応力 を提供

### ■高齢社を活用するメリット

派遣先のメリット
ニーズにあった専門技能や資格をもった人材を派遣。きめ細かいサービスを提供。年間併用のため、低コストで質の高い労働力の活用が可能。

高齢者のメリット
それぞれの希望や能力に合わせ、無理なく、生き生き働ける場を提供。派遣中はいつでも必要なサポートが受けられるため、年金を受けながら安心して就労が可能。



ガス工事現場の派遣社員